



2022年4月7日

新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-60」の日本仕様を初公開

-直列6気筒縦置きプラットフォームを採用し、走りの愉しさを極めた上質なドライビングエンターテインメントSUV-

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、新世代ラージ商品群の第一弾である新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-60(マツダ シーエックス シックスティー)」の日本仕様を本日公開しました。日本での販売開始は今年初秋を予定しています。



「MAZDA CX-60」(日本仕様)

新世代ラージ商品群第一弾のCX-60は、時代の要求に応える環境・安全性能を備えながら、日常の一般道走行から高速道路を使った長距離ドライブまで、余裕をもって運転を愉しめる「ドライビングエンターテインメントSUV」をコンセプトとした、2列シートミッドサイズSUVです。また、マツダのデザインテーマ「魂動(こどう) - SOUL of MOTION」のさらなる進化に挑戦し、自然と調和する日本人の感性を活かしたタフさと緻密さを、その骨格や空間構成から表現しています。

エンジンは、2.5Lガソリンエンジンと電動モーターを組み合わせ、モーターならではの滑らかな加速フィールを特徴としたマツダ初のプラグインハイブリッドシステム「e-SKYACTIV PHEV」、直列6気筒ディーゼルエンジンに電動化技術M HYBRID BOOST (48V マイルドハイブリッド)を組み合わせ、アクセルを踏み込んだ瞬間から感じられる人馬一体の走りの進化と燃費性能向上を実現した「e-SKYACTIV D」、排気量アップによる高出力化とクリーンな排ガス性能を同時に実現した直列6気筒ディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 3.3」、軽快なパフォーマンスと優れた燃費性能を発揮する2.5Lガソリンエンジン「SKYACTIV-G 2.5」の4種類を設定。これらのエンジンにダイレクト感と伝達効率に優れた新開発のトルコンレス8速ATを組み合わせ、優れた環境性能とお客様の期待に応える走りの両立を追求しました。また、これらの高出力化と環境性能を両立するパワーユニットを、縦置きに配置するプラットフォームと組み合わせることで、心昂るような運転体験を感じていただけます。

さらに、ドライバーの発作・急病などの異常を検知し、事故の回避・事故の被害軽減を支援する、「ドライバー異常時対応システム (DEA) ^{※1}」を初採用。加えて、より安心・安全な運転の実現を目指して、お客さまに合わせたドライビングポジションの調整支援を行う「ドライバー・パーソナライゼーション・システム」を採用した機種を設定し、マツダの安全思想「MAZDA PROACTIVE SAFETY」^{※2}に基づき、運転するドライバーだけではなく、同乗するパートナーやご家族にも安心・安全をお届けすることを目指しました。

執行役員国内営業担当の東堂一義は、「CX-60は、全ての領域で意のままの走り、クラフツマンシップ、デザイン、安全性能を上質に磨き上げました。現在マツダ車をお乗りのお客様へ魅力的な選択肢をご提供することはもちろん、プレミアムブランドに対する選択肢として「上質」を求められるお客様にお薦めできる一台です。」と述べました。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る歓び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

■ CX-60に関する情報サイト：<https://www.mazda.co.jp/cars/cx-60/teaser/>

■ CLUB MAZDA：https://www.mazda.co.jp/clubmazda_intro/

CLUB MAZDA は、マツダに興味関心をお寄せいただいている皆様と“もっとつながる”新しい無料会員サービス。新型車の先行情報やイベント情報など、会員限定のコンテンツを配信いたします。CX-60 デザイナーズスケッチのPC・スマートフォン用壁紙やフォトギャラリーなどをご用意。

■ CX-60の主要諸元は以下のとおり

全長(mm)	4,740
全幅(mm)	1,890
全高(mm)	1,685
ホイールベース(mm)	2,870
トレッド(前/後)(mm)	1,640/1,645

※1 DEAは、ドライバー・モニタリングと連動し、ドライバーの異常を検知すると音と表示による警告でドライバーに運転復帰を促します。ドライバーが運転に復帰できない場合には、ハザード点滅、ブレーキランプ点滅とホーン吹鳴で車外に異常発生を報知しながら、高速道路/自動車専用道路では可能な限り路肩に寄せながら減速停止、一般道では同一車線内で減速停止することにより、事故の回避・被害低減を支援します*。停止後は、ドア解錠やヘルプネット自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救護・救命に寄与します**。DEAシステムには作動条件があり、作動条件を満たさない場合は作動しません。DEAは、万一の際に速やかに減速・停止を行うことで、事故の回避や被害の軽減を図るものであり、その機能には限界があり、その効果はさまざまな条件により変わります。システムが作動しても、衝突や路外逸脱を完全に防止できるものではありません。運転者には安全運転をする義務があり、DEA作動に伴う責任は運転者にあります。機能を過信せず安全運転を心掛けてください。

*路肩に寄せる機能の作動には「ナビSDカード」が必要です。

**自動接続による救命要請(マツダエマージェンシーコール)を作動させるためには、コネクティッドサービスの契約が必要になります。

※2 MAZDA PROACTIVE SAFETYとは、さまざまな運転環境において、ドライバーの認知・判断・操作をサポートすることで、危険な状況に陥ってから対処するのではなく、危険自体を回避し、事故のリスクを最小限に抑えることを目指したマツダの安全思想です。